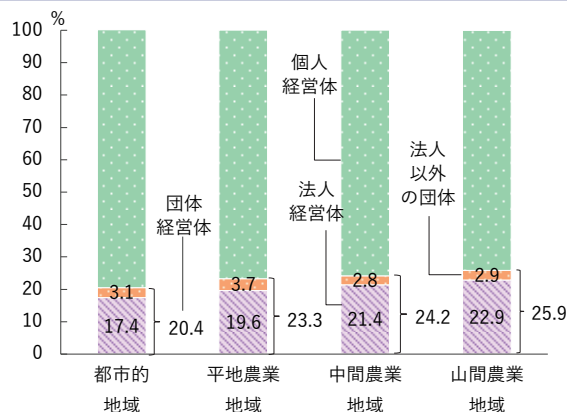


また、経営耕地面積に占める団体経営体の割合を農業地域類型別に見ると、いずれの類型も20%台となっていますが、山間農業地域<sup>1</sup>が25.9%と若干高くなっています(図表 特-14)。

図表 特-14 農業地域類型別団体経営体の経営耕地面積の割合



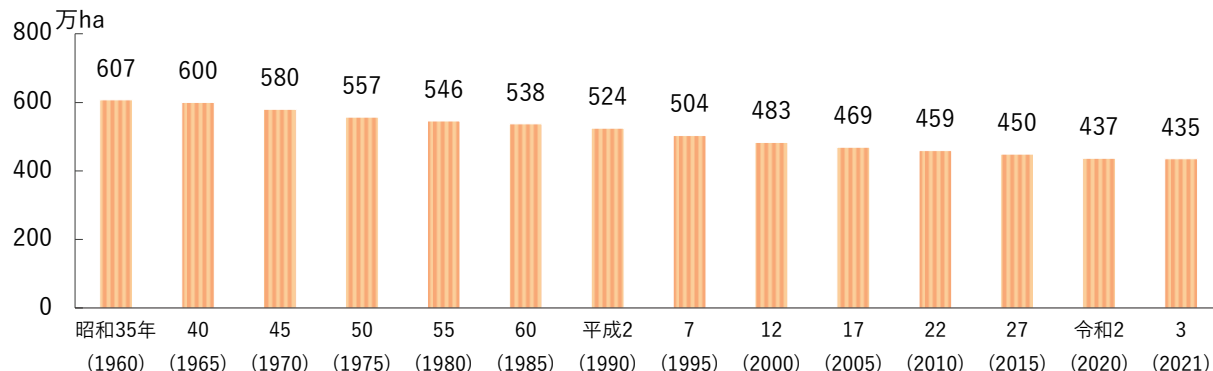
資料：農林水産省「2020年農林業センサス」を基に作成  
注：農業地域類型区分は、平成29(2017)年12月改定のもの

### (3) 農地

#### (農地面積は減少傾向、令和3(2021)年は435万ha)

農地面積は減少傾向にあり、令和3(2021)年は435万haと、昭和35(1960)年の607万haと比べると28%、平成17(2005)年の469万haと比べると7%減少しました(図表 特-15)。

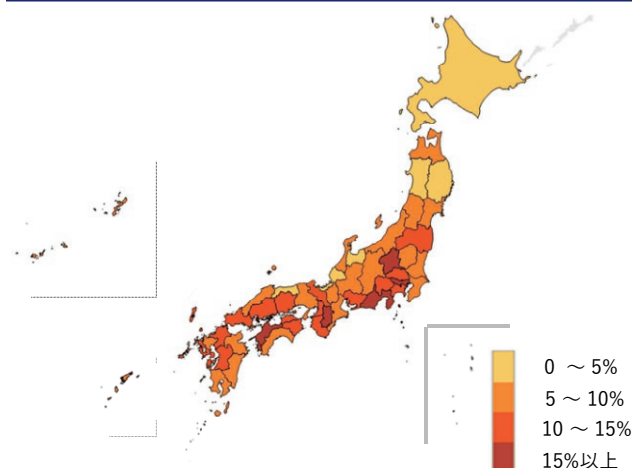
図表 特-15 農地面積



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

平成17(2005)～令和3(2021)年の農地面積の減少率を都道府県別に見ると、首都圏や、東海、四国等西日本の都府県において比較的減少率が大きくなっています(図表 特-16)。

図表 特-16 都道府県別農地面積の減少率



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」を基に作成  
注：平成17(2005)年～令和3(2021)年の減少率

<sup>1</sup> 用語の解説2(7)を参照